

貞操逆転世界で

1

【漫画】紅の煮た豆

【原作】友橋かめつ

唯一の男騎士の俺

女騎士

学園に入学したら

なぜか英雄扱いされた

絶倫スキルで
ハーレム無双

貞操逆転世界で唯一の男騎士の俺、
女騎士学園に入学したら
なぜか英雄扱いされた
～絶倫スキルでハーレム無双～①

漫画：**紅の煮た豆**

原作：友橋かめつ



モンスターコミックス

C O N T E N T S

+ 1 話 +

カサンドラとの出会い

3 p

+ 2 話 +

入学試験

33 p

+ 3 話 +

ルームメイト

63 p

+ 4 話 +

再会

95 p

+ 5 話 +

“悪質な噂”

125 p

T e i s o u G y a k u t e n

「男は女を守るもの」



男女が生まれ持つ
体格の差や
社会的な伝統から

俺の知る世界で
根付いていた
価値観だ

しかし
この世界は違う

い
嫌だ

やめ……

ド

うわあつ

おいおい
逃げんなよ



男ひとりで
逃げられると
思ったのか？

諦めて
さっさと
抱かせろ♡



男は奴隷扱いの
女至上主義



いわば
貞操逆転世界——



男は奴隷扱いの
女至上主義



いわば
貞操逆転世界――



+1話 カサンドラとの出会い+

男ひとり
逃げられると
思ったのか？

諦めて
さっさと
抱かせろ♡



この世界では
男の赤子は歓迎されず
捨て子となる事が多い



俺もまた
孤児だった



孤児院に引き取られた俺は
同じ境遇の孤児たちと
シスターに育てられた



だが彼女には
裏の顔があった



クレト
あとで私の部屋に
来なさい……♡

引き取った孤児を性欲に任せて
食い散らかし飽きたら
貴族へと売り飛ばしていた

俺も抵抗^{ひな}しく
彼女の標的となった

繰り返される一方的な搾取に
絶望とあきらめに満ちていた
そんなある日

身体の異変に気がついたのは
意識を取り戻した朝だった

行為をする前よりも
全身に力が漲る――

性行為を行うことにより
相手の魔力の一部を
吸収することができる

俺にはそんなスキルが
発現していたのだ

男は女より
圧倒的に魔力が弱く
スキルの発現も稀だ



だから魔力が必要な
騎士などの上級職は
女性しかねない

このスキルと魔力こそ
女性優位の大きな
一因でもあった

けど
発現したこの能力を
活用すれば

男の俺でも
多くの魔力を
手にできる

栄誉ある騎士にだって
なれるかもしれない

こっちだって
利用してやるんだ…！



それから数年が経ち

騎士を目指し
「鍛錬」を続けていた俺は
騎士団の元へ赴いた

いよいよだ

シスターから
魔力を奪いつつ
ひたすらに鍛え続けた…

騎士団に潜り込めれば
騎士になるチャンスは
きっとある

騎士団長のカサンドラは
最年少でその地位を得た
傑物中の傑物と聞く

彼女に
俺の実力を示せば…









俺を騎士団に
入れて貰えませんか

ギハハハハ

あっははは！
おい聞いたか？！

男が騎士に
なりたいてさ！
こりや傑作だ！

騎士じゃなく
専属の娼夫としてなら
歓迎してやるよ！

団長！
どうです？

しゅん



あれが…
黒狼騎士団の団長

カサンドラ・バレット・ハート

ふむ…



良い身体を
しているな



お前



肉付きが良いし
引き締まってる



剣タコも
立派なもんだ



毎日死ぬ気で
剣を振らないと
こうはならない



何より
身に纏まとっている
雰囲気がいい

覚悟を決めた
武人のそれだ



騎士でも
その気を纏まとっている
奴は多くない

気に入ったよ
ガキ

騎士に
なりたいん
だって？







私に抱かれるだけで
騎士になれるチャンスがある
破格の条件だろ？

その程度の
覚悟もないか？

さ…流石に
やめといたほうが
いいかもよ…

団長の性欲と
釘打ちピストンは
えげつねえぞ♡

騎士になる前に
壊されちゃうよお…

かや

かや

1 W 8

相手はあの
カサンドラだ…
団員の言葉は
真実だろう

下手をすれば
壊される…!

…けど

これはきっと
騎士になる覚悟を
問われてる…

臆しては
駄目だ…!

わかりました

その申し出
受けます

騎士になる為なら

良い返事だ

俺は手段を
選ばない



婿入り前に
傷ものにしちゃ
マズいですからね

ちゃんと手加減して
あげてくださいね

団長く!



わい

屋内練兵場

わい



あの
日を改めた方が
いいのでは…

うん?

酔っていたら
本気を出せないかも
しれないし

負けた後にそれを
言い訳にされても
困ります



かっかっか!
言ってくれるねえ

問題ない

酒に吞まれることはない
吞むのはいつだって私の方だ



彼女は
圧倒的に強い

剣を交えずとも
対峙しただけで解る





剣先が
震えているな

臆したか？



カ
カ

カ
カ

カ
カ



本当に弱い奴は
恐怖を感じる
事すらできない

それは
力の差を正しく
認識している
証拠だ



ぐん...

その点
お前には
見込みがある

恥じる
必要はない



彼女に力を見せないと
騎士への道は開けない



けれど



本能は
逃げると
告げている



ほう
身体強化の魔法を
使えるのか

ブー
——
身体強化！



は
あああつ！



良い一撃だ

——っ！
まだだっ！

くはは！
いいぞ！
大したもんだ！

剥き出しのお前を
私に見せつけてみる！

セックスで
得た力を……！！

魔力回路を開放し
風属性を付与

やはり
到底及ばない
ならばここで
使うしかない



速い!?

ウインドストライク
疾風怒濤!



——結論から言っと

パラ…

俺はカサンドラに
勝てなかった

しかし

まさか男相手に
ムキにさせられるとは

何なんだ今の
風魔法の剣技

男の魔力量を
遥かに超えていたぞ

……あんたに
教える筋合いはない

くははっ！
生意気な奴だ

約束通り騎士学園に
口利きしてやろう

それと

ゲホ





昼は剣術
夜はセックス
住み込みで稽古だ

お前を
一人前にしてやる

……よろしく
お願いします

でも良いんですか
騎士団放りだして



せっかくの
地位だって
無為になるかも…

問題ないさ



面白そうな事には
飛びつくべきだ!!

金や地位に目が眩むと
人生の本質を見失う

あとお前の
見た目が好みだ

チンポ
デカそうだし

…そうですか

そうして
新たな生活が
幕を開けた

カサンドラとの出会いは
俺の人生の転機だった

二人きりでの
山小屋生活

朝日が昇ると
同時に起床し
手合わせをする



しかし一撃を
当てることすら
かなわない



昼には森に入り
魔物を狩って
食料とした

喰うか喰われるか
互いの命を懸けた
極限のやり取りだ

魔物を狩るのは
人相手と違って
難しいだろう

分けてやろうか？

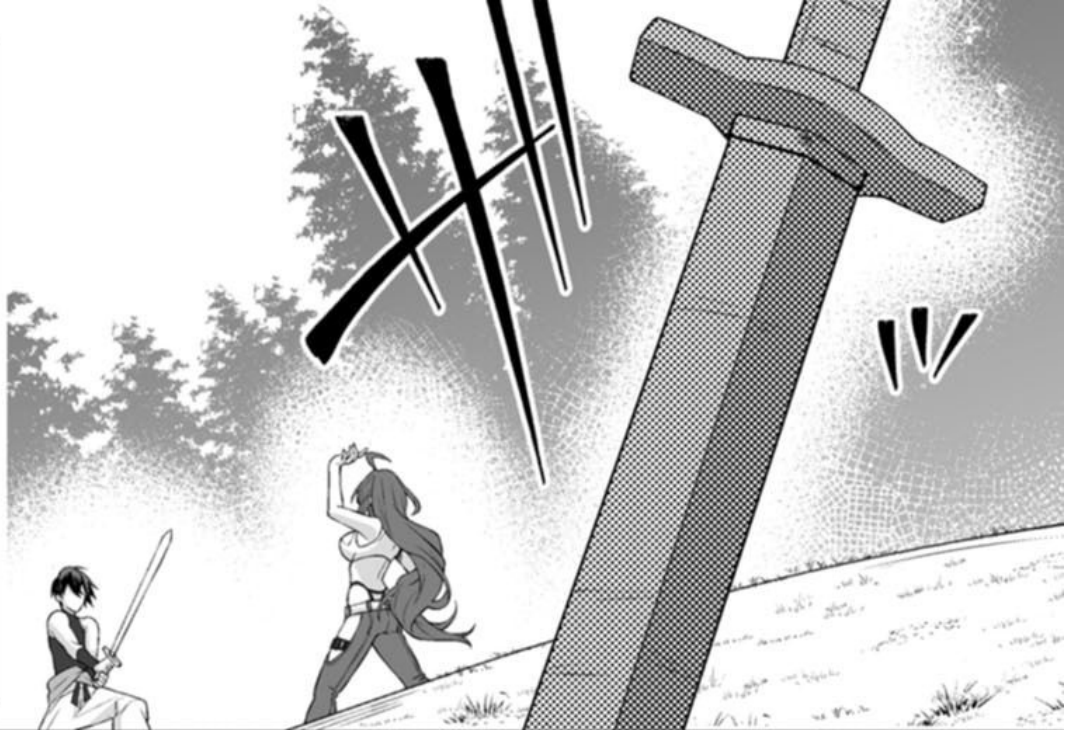
モグ
モグ

……施しは
受けません

くつくつく！
可愛くない奴

昼食を終えると
また俺が倒れるまで
手合わせをする

そんな日々を
数年続けた
ある日――



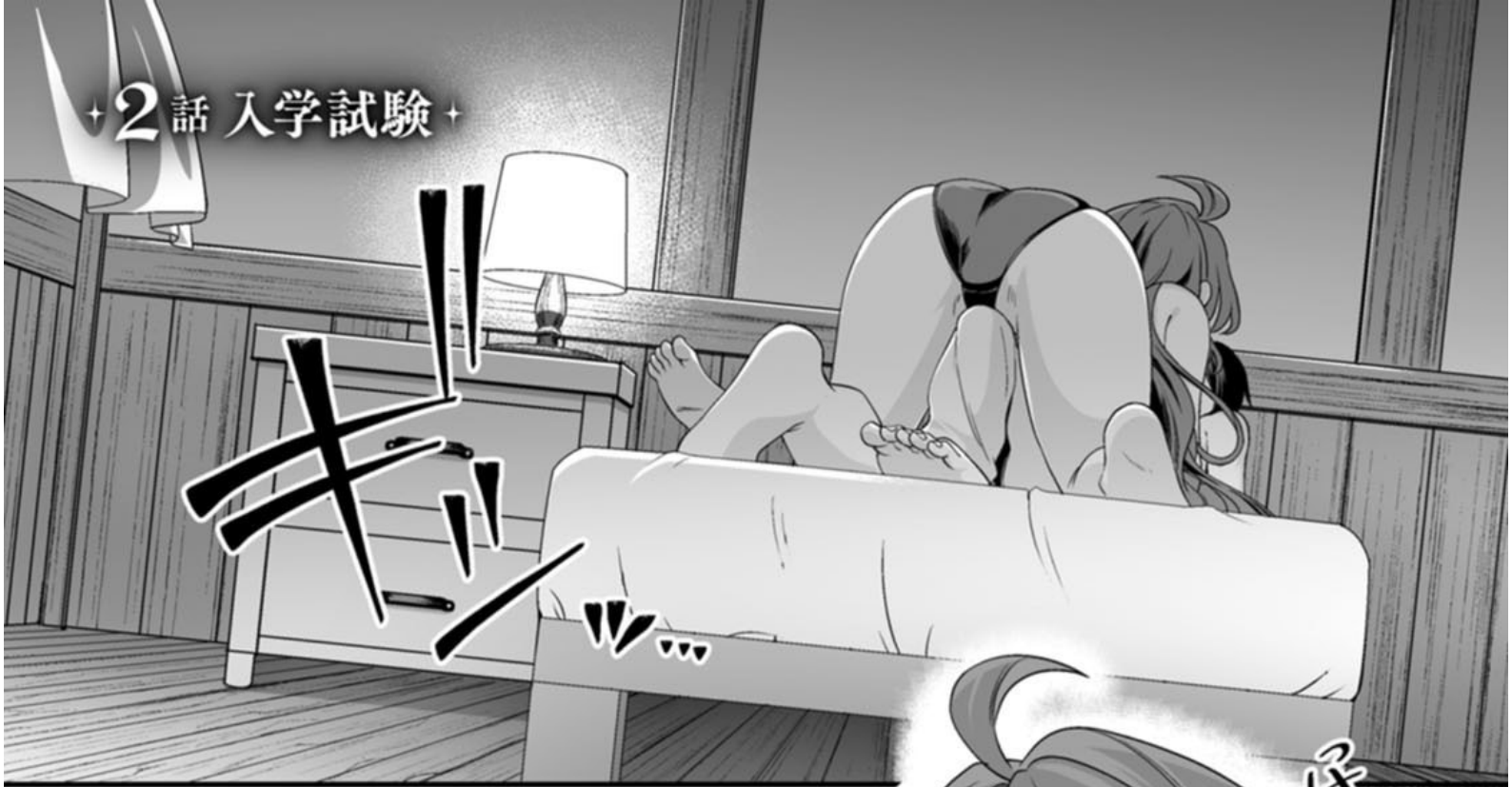


次はこっちが成長したか
確かめさせてもらうぜ

本気出すから
覚悟しろよな♡

グッ

★2話 入学試験★





硬くてデカイ
良いチ○ポだ…♡

私の釘打ち
ピストン騎乗位

どっちが
先に果てるか
勝負だなクレト♡



おらっ♡

これが数々の男を
壊してきた絶技だ

極上だろう？

さすが
だな…っ

お互いに嬌声きようせいを
あげながら
俺たちは毎夜交わった

んあ♡♡

獣のように交わる
その日々は充足感に
満ち溢れていた

その充足感
はカサンドラにとっても
得難いものだったらしい

いいぞ♡
もっと♡

クレトっ
一緒に……っ♡





すっかり
見違えたしな

...



山小屋暮らしは
終わりだ



破門...?

違うって



学園の試験は
受けられるのか?



私が今のお前に
教えられる事は
全て教えたからな

免許皆伝だ

ポーン





ややめて
ください……

いいじゃん
減るもんじやないし

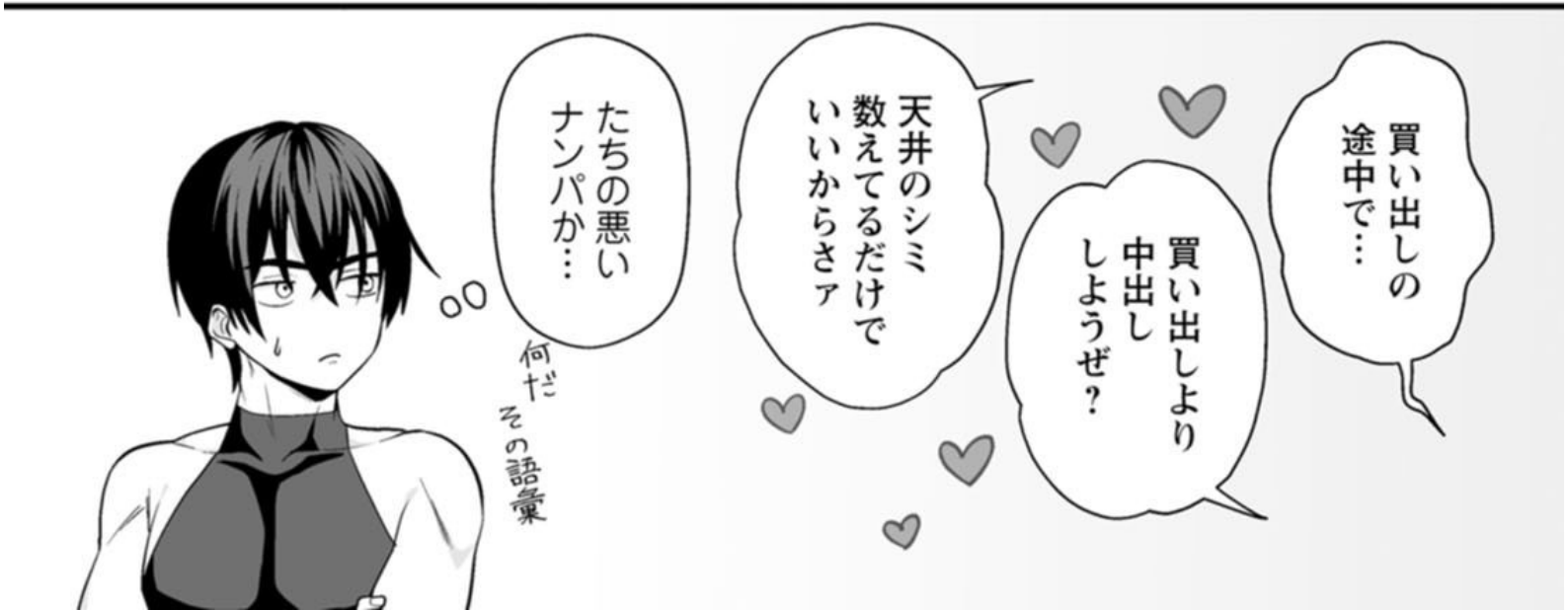
ちよつと
パコらせなよ♡



きゃはは

そこの坊や
今ヒマ々？

あたしらと
遊ぼうやく♡



たちの悪い
ナンパか…

何だ
その語彙

天井のシミ
数えてるだけで
いいからさア

買い出しより
中出し
しようぜ？

買い出しの
途中で…





貴族の名門
ホーリーライト家

その中でも
歴代一と称される
剣の腕の持ち主

今年騎士学園に
入学するらしいとは
聞いていたが…

すげえ
気迫だ…!

お二人共
ご無事ですか











翌日
騎士学園本堂



さすが都の
学園だ！

デカいな…

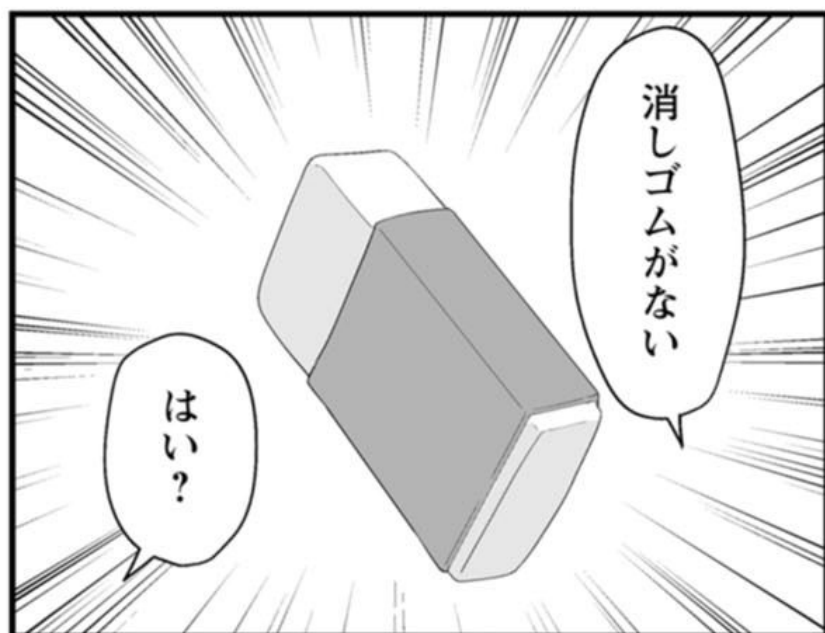
なんで
こんな所に
男が？

おっ！！
いい身体！

けどコレは
どこも
変わらんな













わかりましたから
とりあえず
離れてくださいっ！

はい消しゴムっ！
これでいいでしょう！

ハロ
ミーン



あざとい
男だなあ

あたしも筆記具
貸してやりてええ

処女には
しげき強いわ

ドキ
ドキ

ふしッ



ありがとう
助かった

ニム...



筆記試験を終えると
実技試験が始まる



騎士学園の
講師たちとの
一対一試合だ



実績をつんできた
騎士である講師達に
実力を示せば
合格とされる

……如何でしょうか





噂の受験生
思ってたより
いい男じゃない

道理で
カサンドラも
気に入るわけだわ

カサンドラを
知っているのか？





ほら
ハンデで一撃
打たせてあげる

好みの顔だから
特別サービスよ



…これは
試験ですよ？



ええ

記念受験
くらいは
させてあげる

記念受験……
ずいぶんと
舐められている

わかりました

一撃ですね

——だったら
見せつけるだけだ

ズ……

ポ
ッ
ッ

カ
チ
ャリ







いいわ

その威勢の良さ
完膚なきまでに
打ち砕いてあげる







負ける？
この私が？

男に？

生まれつき
負け犬の
男なんか

お前の奴
強者が
敗北する
だなんて

しかもアイツの
弟子にだなんて！

絶対に許されない



ベステイ試験官
本気モード
じゃない？

え？まさか
男相手よね？

ざわ

ざわ

この紫の
オーラは…



ふふ

ズ
ズ
ズ…

私の魔法は
毒魔法

触れるだけで
剣も鎧も人体さえも
溶かす猛毒

ドロォー

あなたに
成す術は
ないわ

ズッ



毒蛇の牙

ポ
イ
ズ
ン
ス
ネ
ー
ク



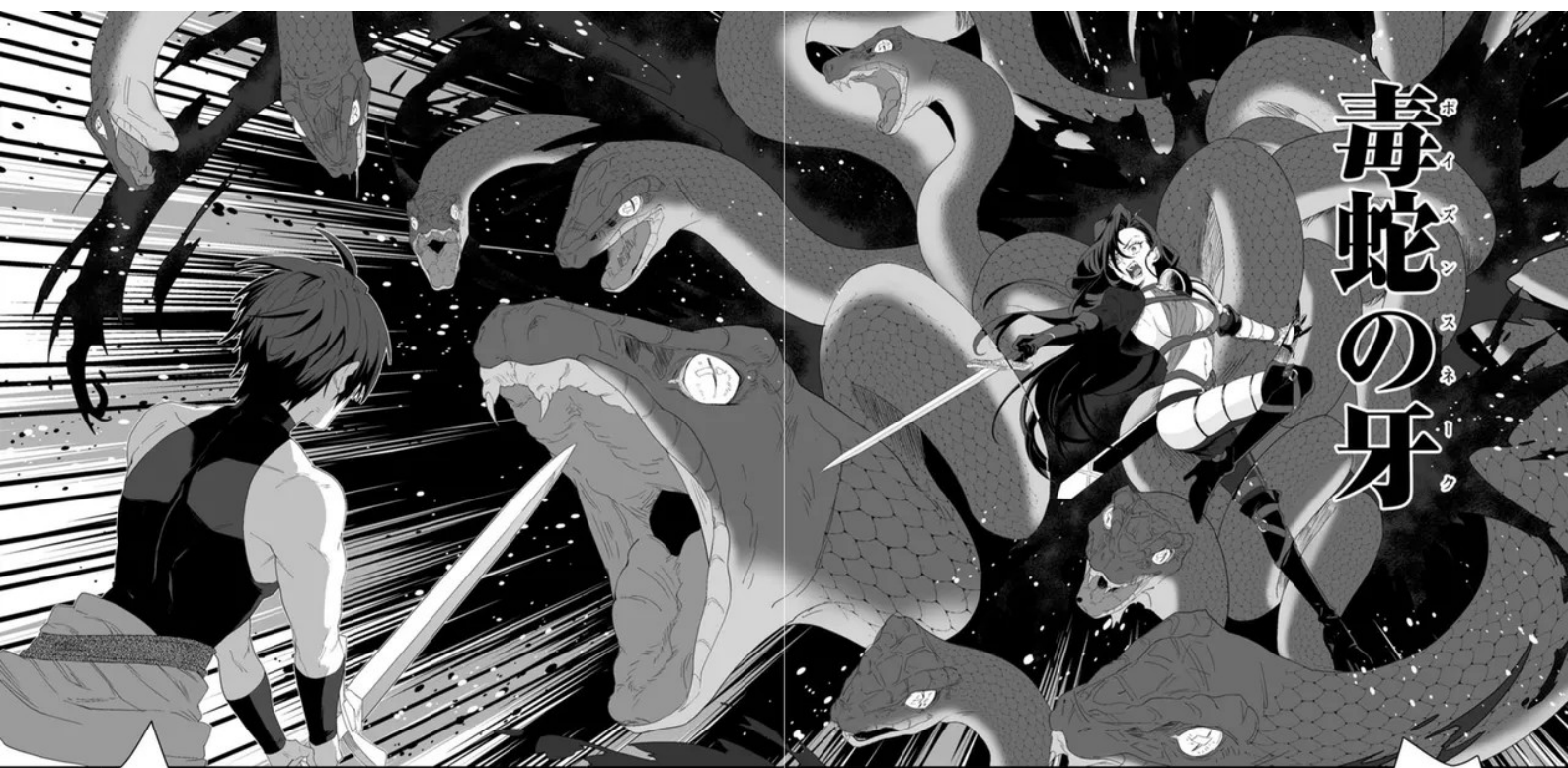
獲物を逐う
執念の牙ッ!!

お



避けれるものなら
やってみなさい!!





避けれるものなら
やってみなさい!!



獲物を逐う
執念の牙ッ!!

毒に触れたら終わりだ
剣で防いでも溶かされる…

回避する術はない

魔力回路を
開放…

だったら

触れずに
倒せば良い

疾風怒濤

ウインダストライク



そんな…ッ
ありえない？

は？！

魔力の衝撃波で
かき消された!?

なんなのよ
この強大な
魔力量はッ？！

きゃあぁぁぁ

ドッ
ゴッ



そこまで！

クレトリブライトブレード
合格だ！



ぐっ…！



男が試験官を
倒しちまったぞ！

マジかよ！
あいつ
やりやがった！

あの危険な攻撃も
落ち着いて対処が
出来た…

これも
カサンドラとの
修行の成果か…

男の騎士とは
前代未聞だが

実力のある者を
騎士学園は歓迎するわ



あいつが合格だと!?
ふざけるなよ…!!

絶対にこのままでは
終わらせない……!

死すら生温く思えるほど
徹底的に辱めてあげるわ……!!

いぬ…

無事合格となった俺は
騎士学園寮への入寮が決まった

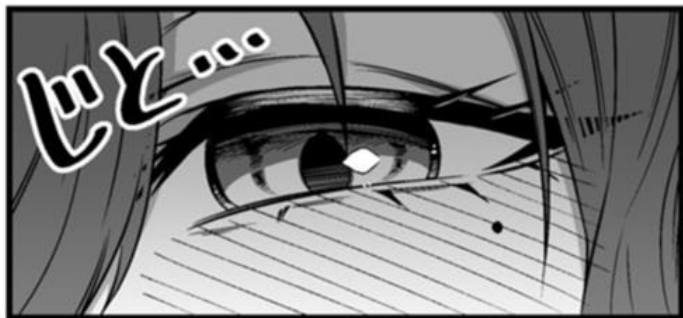
あらあら
いらっしやい♪

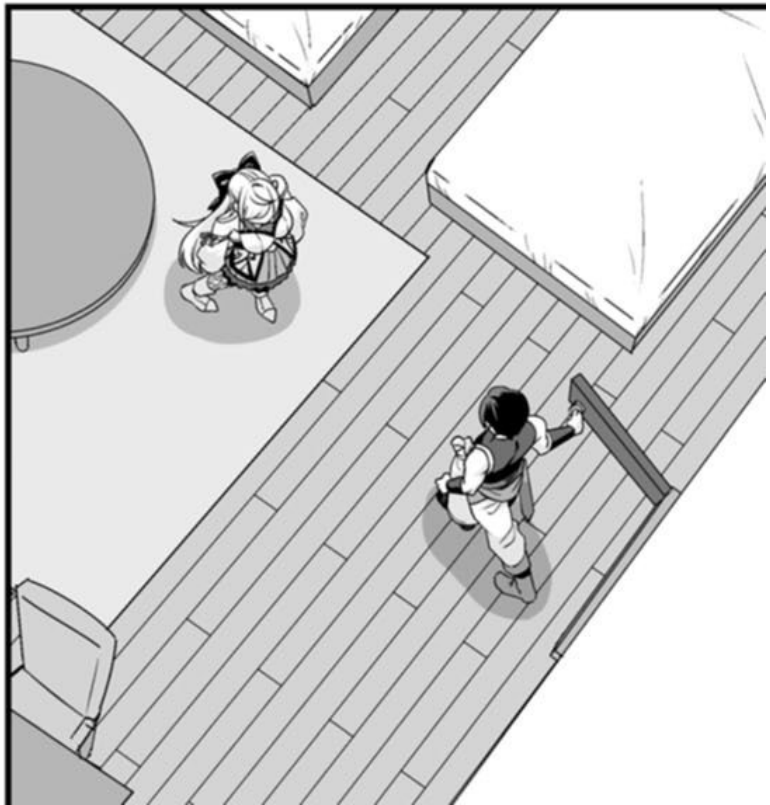
寮母をしている
マリエルと申します〜

よろしく
お願いします

うふふ

ロリ







なんで
ここに!?

あの時の
ふしだらな男!?



ええ!?



はあ!?



何故って
今日からこの部屋で
生活するからだか?









顔が真っ赤だぞ？

なっ？！



ソフィア…

きつ
気のせいですが！！



握手だけで
耳まで
真っ赤に…

なっってません！！



こうして俺の
寮生活は
幕を開けた

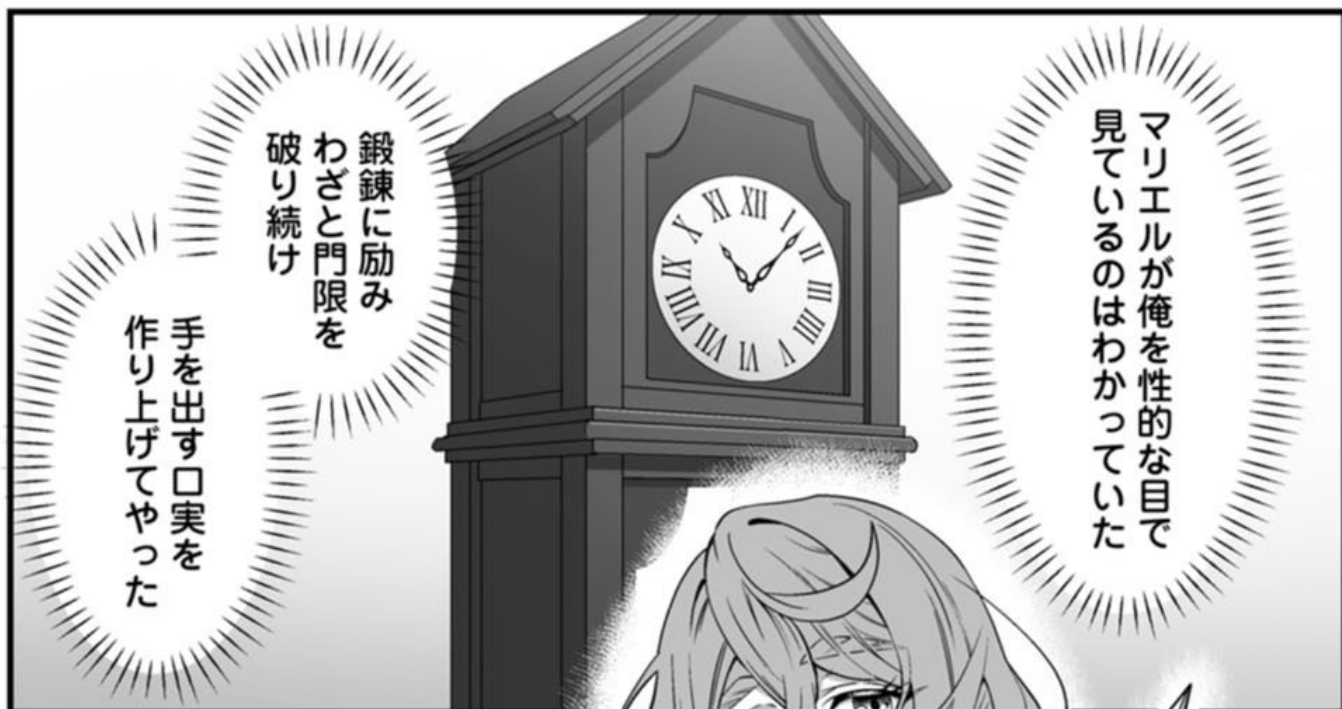
数日後





かかった

…はい



マリエルが俺を性的な目で
見ているのはわかっていた

鍛錬に励み
わざと門限を
破り続け

手を出す口実を
作り上げてやった



彼女と交われれば
より強い力を
得ることができる

マリエルも騎士学園の
優秀な卒業生らしい





ギシギシ



クレトくんが
悪いんですからねえ♡

これはお仕置き
なんですからあ…♡

もう一秒も
我慢できません♡

たぷ♡
♡







まだ終わりじゃ
ありませんよ







貞操逆転世界で

唯一の**男騎士**の俺、

女騎士学園に入学したら

なぜか**英雄**扱いされた

〜絶倫スキルでハーレム無双〜

入寮してからも
鍛錬の日々は続いた



日中は
剣の
打ち込み

あと二百回…



4話 再会

そして夜は…





クレトくん♡

今日もいっぱい
気持ちよくして
ください…♡

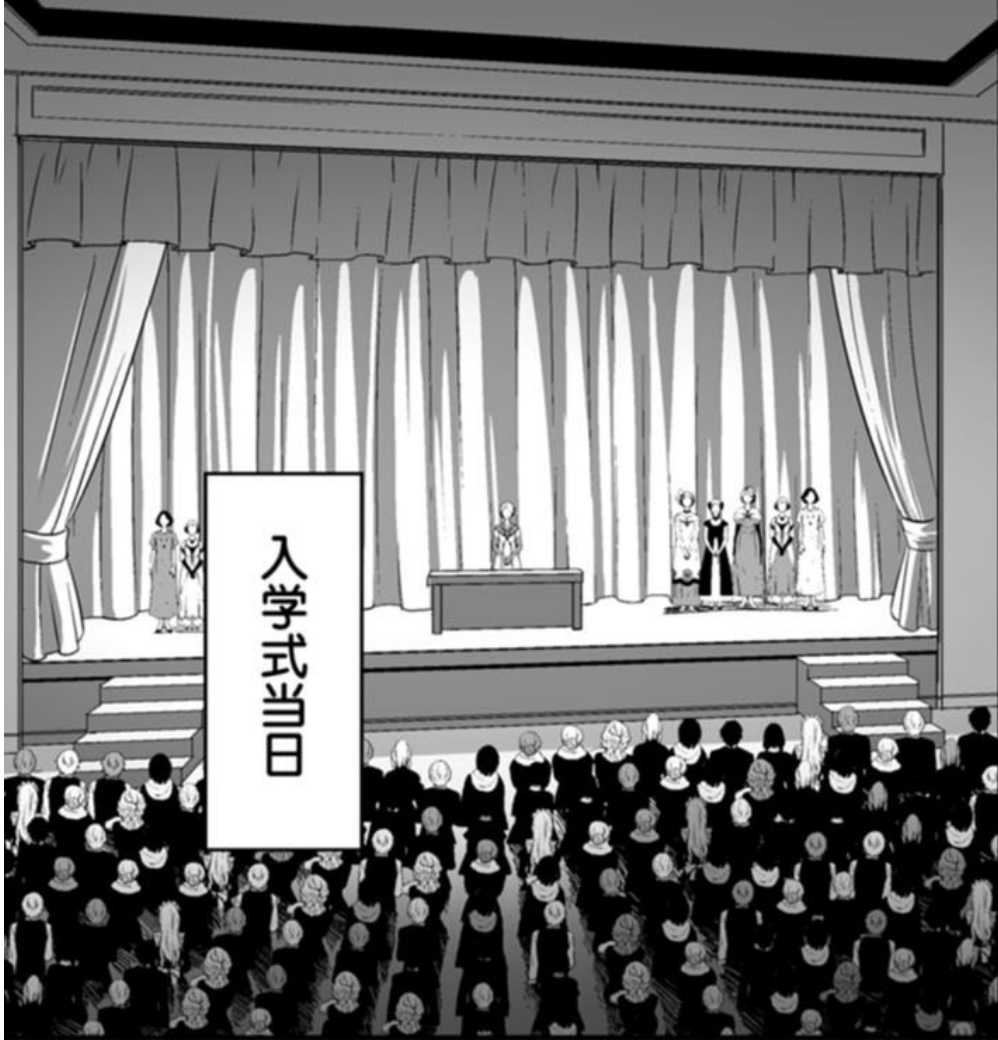


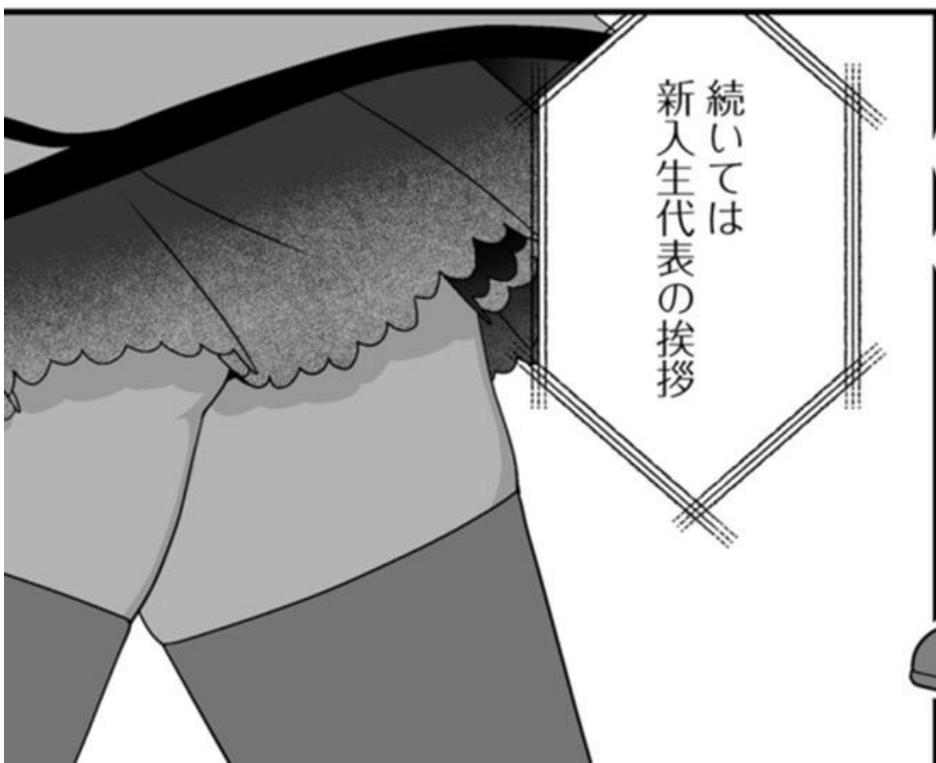
寮母マリエルに
腰を打ち込んだ

おしり♡
きもちいい♡
あぁ♡

お♡

ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡











カサンドラ…!?

おお!!

いや今
スピーチ中

久しぶりだな
クレトお!!

ずん

ずん







それに…

お前を抱いたら
他の男では
もはや満足できん♡



……退屈
しなさそうだ

——これは好都合だ



王国最強の騎士
とまぐわえば
最も効率よく
力を得られる



利害が
完全に一致
している!!



強くなりたい俺…

セックスしたい
カサンドラと







あの男が
学園に居続けるのは
私のプライドが
許さない

一刻も早く
追い出さなければ



あの男お...!

メリー



入学試験での一戦で
私の立場は
一変してしまった

男に敗れた
雑魚教師

弱者女性



好色家を
逆に利用して
やればいい

あいつが誰とでも
簡単に寝る男だと
噂を流す…

騎士学園の生徒は
みんな男に飢えているから
きっと入れ食いになるわ

連日
複数の女に輪姦され続けられ
心も折れるでしようね

心の折れた
あいつは最終的に
自主的な退学を
選ぶことになる—

ニイ…

今に見てなさい
クソ男！



私に恥を掻かせたこと
後悔させてあげるわ

スピーチ中は
お静かに

もう入學式
メチャクチャです…

おーほっほっほ



決まった

一方その頃
ソフィアは騒ぎに気づかず
スピーチを完遂していた



そうして
騎士学園での
日々が始まり

俺は最上位の
Aクラスに
所属すること
になった

それに
しても…

路地裏から入試
部屋割りと続いて

まさか同じクラスで
学ぶことになるとは思
いませんでしたよ

どうして
こうも貴方と
ばっかり…

一緒に
良かったな

…もしかして
俺の事をマーク
してるのか？

誰がしますか!!
本当に偶然です!!

それに全ッ然
良くありませんよ!





それは
まあ……

気づかないで
スピーチを
完すいた女

……後から
知りました
けど！

嘘つけない
奴なんだな

カサンドラ先生が
お相手だったと
聞き及びましたが

最強と名高い
騎士団長と
お知り合いだった
のですか？

カサンドラとは
一緒に暮らしていた
からな

えっ？！

数年だが山小屋に
住み込みで朝晩
稽古を付けて
貰っていたんだ







本当だったのか

カサンドラ先生が
このクラスの担任!?

私が担任の
カサンドラ
バレットハートだ



お前たちは
これから三年間

騎士になるために
この学園で
励むことになる



卒業するためには
任務や大会での活躍など
様々な方法で
功績を挙げる必要がある



優秀な者は
より上位の騎士団から
スカウトを受けられる

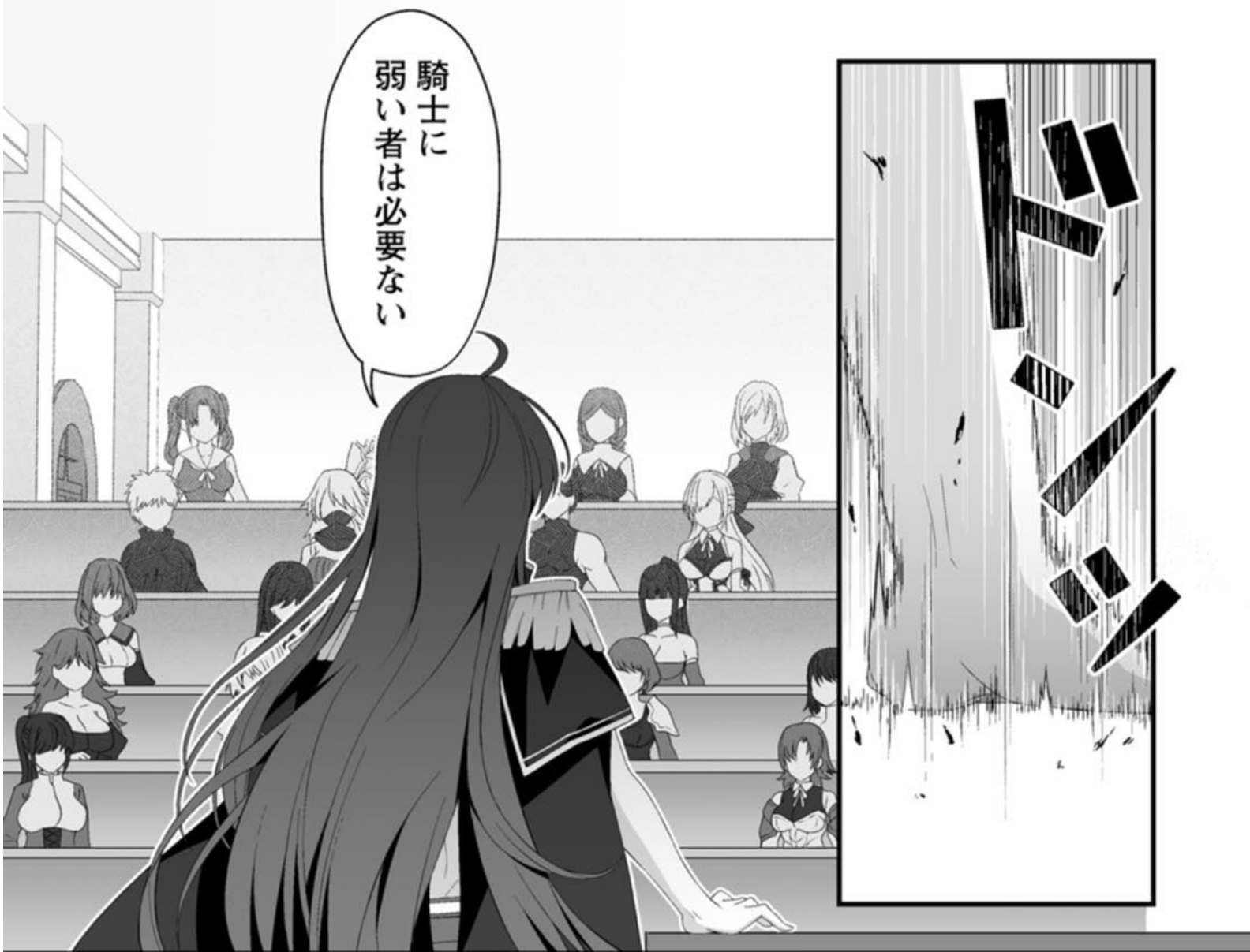
我が黒狼騎士団も
スカウトをしているが

その条件は
学年の最優秀者

ただ一人
だけだ

…いいか
お前たち











さて…

この学園では
どう立ち回る
べきか…



よオ

ゆん

たゆん





お前が例の
男の新入生
かよ？

ちよつと
面アかせや



聞いたぜ？

実技試験で
試験官に勝ったん
だってなア

男の
お前が

いったい
どんな手を
使ったんだよ



あの
勘違いしないで
ください



ヤンキーの
難癖か…

姑息なイカサマでも
したと勘繰られて
いるんだろう



しかし
どう対処
するべきか…

入学初日に
騒ぎは御免だぞ

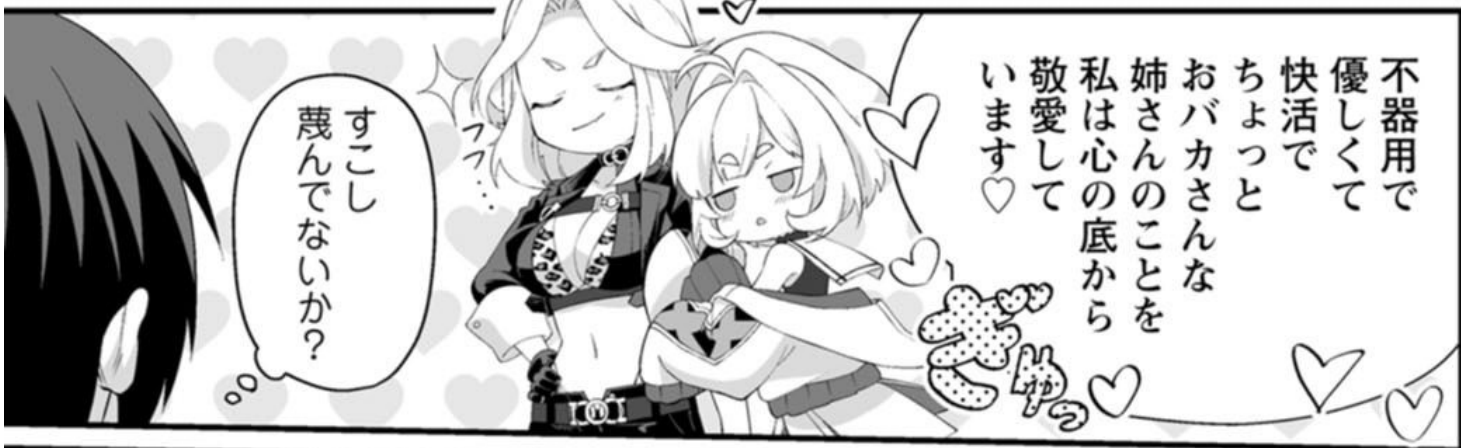
姉さんは純粹に
あなたに興味を
抱いているだけです

挑発して
いるワケでは
ありません

そうなのか？

あん？
最初からそう
言ってたんだろ？

キュッ



同日
演習場

今から
魔力の測定を
して貰います

魔法には属性があり
属性への適正は
十人十色です

自らの適性を
見極めることで
効率よく鍛錬を
積みましょう

この水晶に
手をかざすと
本来の魔力量と
適正のある属性を
診断できます

それでは
名前を呼ばれた者から
順番に水晶玉の前へ

適正診断か：
クラスメイトの
実力も把握
出来そうだ

合理的だ

貴女は赤色：
炎属性ですね

ハッ
アッ

光量が魔力量
色が属性を
表している
…という事か？

そうです

彼女は光も
強いですね：
流石Aクラスの
生徒です

つぎ！

ベルガII
ストレイガ

っし！！
あたしの
番だな！



XHI / 10



おお！
妹もすごいぞ！



流石あたしの
自慢の妹！

姉さんには
到底及びません

仲良いな...



次
ソファイアII
ホーリーライト

はい！





光魔法の
適正ですね

凄まじい…
見たことのない
魔力量です





…さて
気を取り直し
まして

では次で
最後ですね

クレトリブライトレード

はい



やっばり由緒ある
ホーリィライト家は
格が違うな…

すげえ…
光属性を生で見たの
初めてだ…

神々しい…



試験官倒したんだし
ひよっとするかも

そんなことより
立ち姿エロすぎね？



あの新入生
どうなんだろうな

男なのに
魔力あるのか？

何もおこらない...

……魔力量は
ゼロに等しい
ようですね

適性のある
属性ありません

あっはっは！
しよぼすぎる
でしょ！

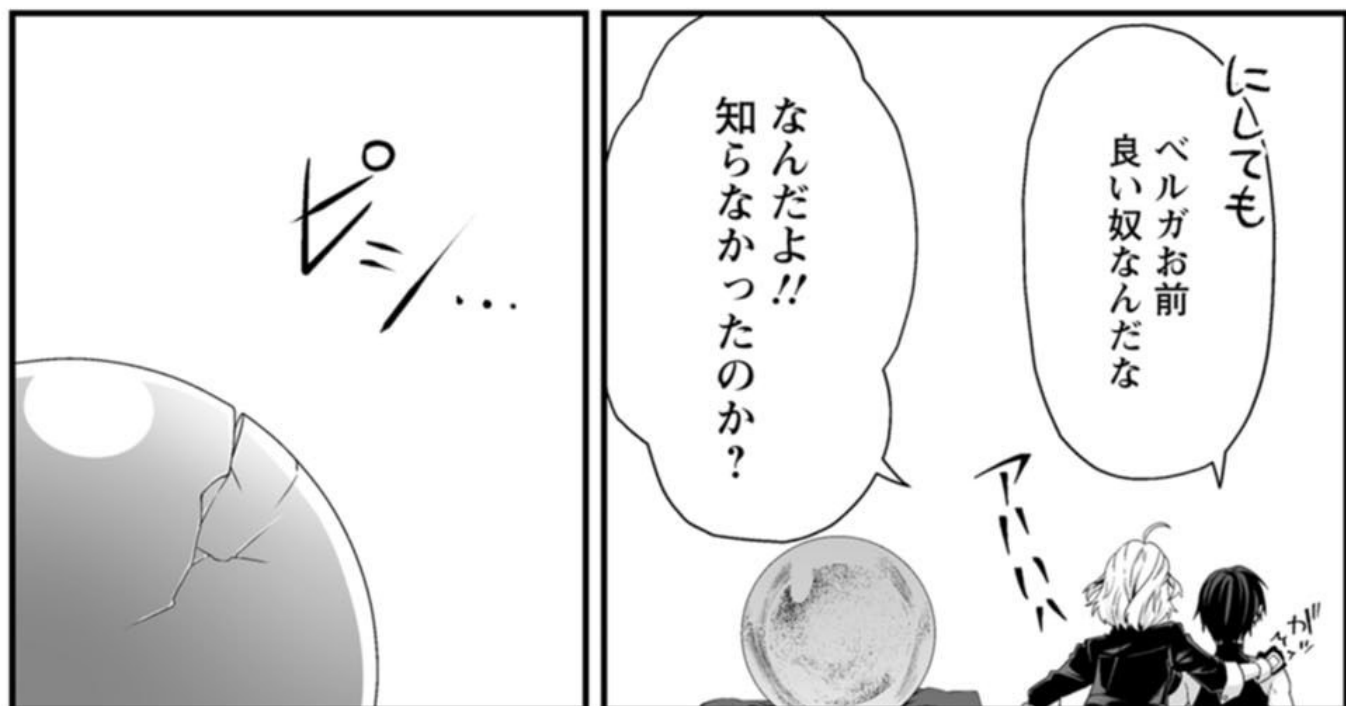
アハハ
なんで
あんなのが
合格できた
んだよ！

おい

誰だ今
笑ったの

ダチを笑う奴は
あたしが許さねえぞ

ニーン...







ほら
一万ギル



で？
廃教室まで
呼び出して
なんの用だ？

ゴシ
ゴシ



ははあ？
あんた噂の
クレトでしょ？

リキ

一万ギル払えば
やらせてくれる
って話じゃん！



…？

…これは？

どういふつもりだ？

えっ！？



はあ:

はあ:

ねえ...お願いッ
早くチンポ...

チンポお
...ッ♡

はあ

チンポほしい...♡

んああッ♡
チンポきたあ♡

イクラッ♡
イクイクッイク♡

このあと俺の噂は
女生徒のレビューと
共にものすごい
速度で広まった

ギン

ギン



そんな噂が
広まる中――



騎士学園二年生
カロリーナII
シャドウミスト
は悩んでいた



ずっと自信がなく
引っ込み思案で

巨大な体躯とは
裏腹に

学園では目立たぬよう
常に猫背のまま
静かに過ごしてきた



さっきの噂
本当なのかな…

お金を払えば
なんでも…
こんな私とでも…

えっちして
くれるのかな…！

あの……
ク……クレトくん……
だよな…？

ドキ…

ドキ…

ドキ…

そうだが
あなたは？

あ…
えっと

あわ

あわ

私2年の
カロリーナII
シャドウミスト
っていつて…

その…！

先輩か

い 一万ギル
払ったら…

ボ…

色々…その…
させてくれるって

…本当？

ボ…







お 大きすぎて
変だよね……？

はるん

そんなこと
ないですよ

あつダメ……っ
そんな汚い所ッ！

あゝゝゝ
♡♡

しゅん
♡♡

ひゅん
♡♡

んん
♡♡



どうして顔を
隠してるんです？

あッ
気持ちよくて
きつと私…ッ

あッ…ッ

あッ
へんな顔してると
思うから…ッ



かわいい顔
ですよ



そんな事
ない…





クレトくんも…
気持ちよくなつて…♡

んっ…
んう…♡

くちゅっ♡

くちゅっ♡



クレトくんっ
クレトくん…♡

きゅっ♡
きゅっ♡



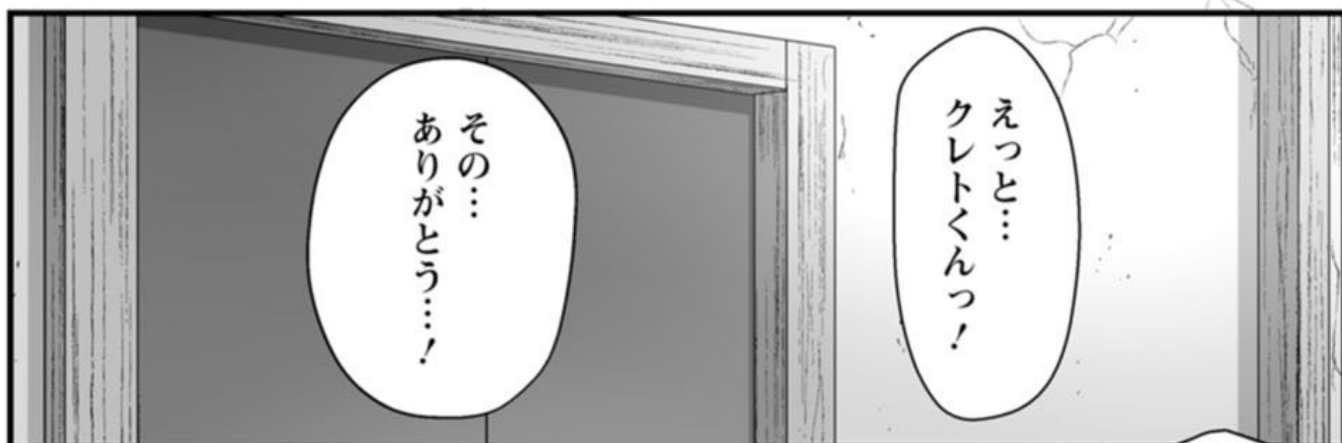
あッ♡
そこっ♡

気持ちいいっ
……♡



私…
もう…っ

きゅっ♡
きゅっ♡





そうでなければ
いいとは思ってます

それが誇張された
虚言であれば
火消しに協力します

心乱された状態では
鍛錬にも身が入らない
でしょうから

どうやら
心無い噂で俺が
傷ついているのか
心配しているらしい

誠実な奴

いんす!

噂は
事実だ

カタッ

……えっ

レレレ

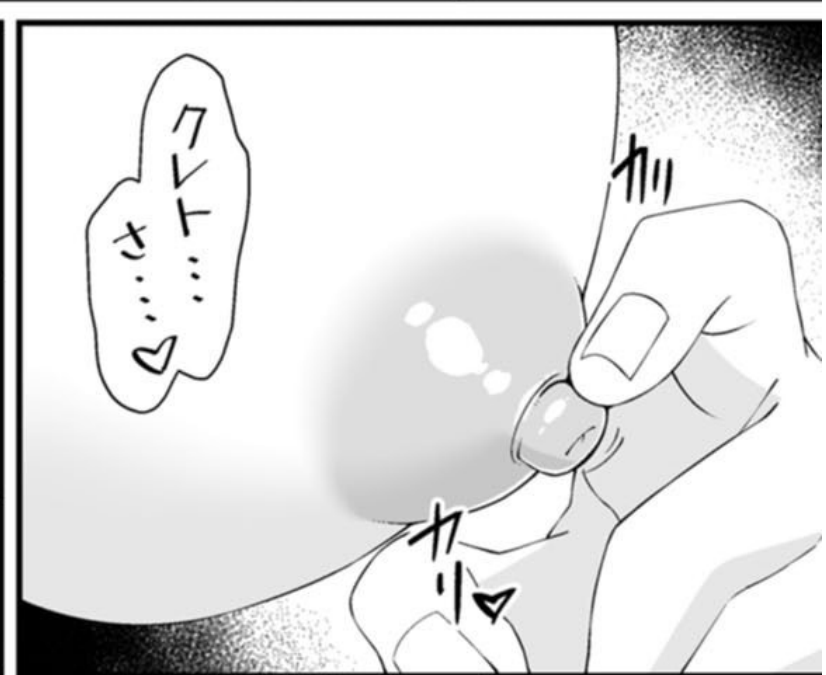
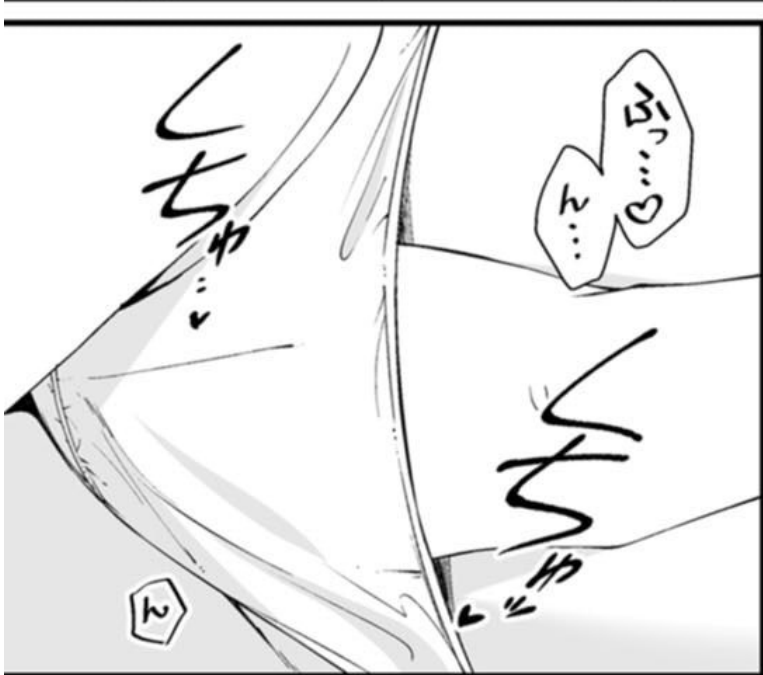
お前の言う通り
俺は一万ギルで
誰とでもやる

なんで
そんなことを?

気持ちがいいこと
をするのに
理由があるのか?

なっ…







最低です...

はぁ...
クレトさんで
想像して
しまうなんて...

ず〜ん...



んんんっ...♡

「一万ギル出せば
やらせてくれる男」

その噂に乗じて
やりにやりまくった俺は

金と魔力を
着実に増やしていった

だが好意的な人
ばかりではない
のも事実

あれえ？

この辺りから
淫売の匂いが
するぞお？

あら本当

男を見下す輩にとって
格好の標的だよな

こればかりは
仕方ない

黙ってないで
何か言えよ

無視にかぎる……

楽しそうな話を
してるな



げ!!
ベルガ!!

あたしも
混ぜてくれよ



なんでも
ないですく!



何の話
してたんだ?

あ?

随分と盛り
上がったが



単にあたしが
ムカついた
だけだ

気なんか
つかって
ねーよ



人を貶す暇が
あるなら
自己研鑽に
励めっての

気をつかわせて
すまないな



じゃあ
おっぱじめるか!!



貞操逆転世界で

唯一の男騎士の俺、

女騎士

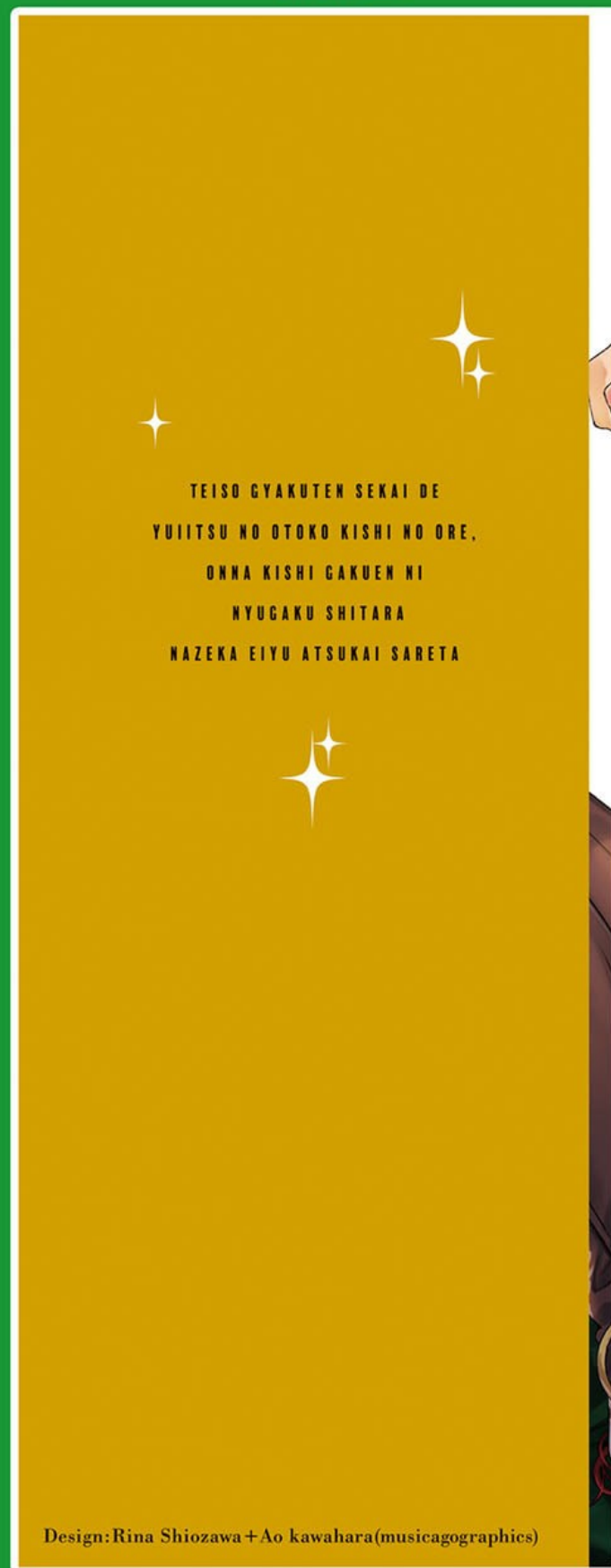
学園に入学したら

なぜか英雄扱いされた

絶倫スキルで
ハーレム無双

第2巻は2026年
春頃発売予定!!

カバー折返し・1



カバー・表



カバー・裏＋背表紙



貞操逆転 世界で唯一の**男騎士**の俺、
女騎士 学園に入学した男が英雄扱われたハレム無双



漫画 紅の煮た豆
原作 友橋かめつ

双葉社

MONSTER COMICS

女が男を支配する、貞操逆転世界に生を受けたクレト。
男という理由だけで親に捨てられ孤児として生きてきた彼に、
ある日、スキルが発現する。
それは女と行為をすればするほど強くなるという絶倫スキルだった。
日々、シスターとの“修練”に励み女をも凌駕する強さを身に付けたクレトは、
エリート女しか入れない騎士学園への入学が認められる。
名誉ある騎士になり、虐げられてきた人生から成り上るため、
群がる女騎士学園の生徒たちと闘技場でもベッドの上でも対戦し、
女騎士学園の英雄へと登り詰めていく――。



双葉社

カバー折返し・2



モンスターコミックス

貞操逆転世界で
唯一の男騎士の俺、
女騎士学園に入学したら
なぜか英雄扱いされた
～絶倫スキルでハーレム無双～
漫画：紅の煮た豆 原作：友橋かめつ

表紙・表



表紙・裏



MONSTER  COMICS



異世界

ハレム王の プレス漫遊記

～最強無双のおじさんは
あらゆる種族を嫁にする～

漫画 | 灰刃ねむみ

原作 | くさもち

キャラクター原案 | マッパニナッタ

“種付けおじさん”
勃たぬ種族なし!

エルフ、魔族
オークなど

異世界で色んな種族のハレムを作る!?

シリーズ続々重版! 好評発売中!

M モンスター
コミックス

与え
られた

スキルを使って

嫁いで

異世界
美女達と

イチャ
イチャ
したい

シリーズ続々重版中! 大好評発売中!!

女剣士、獣人、吸血鬼、etc 俺の周りは全員巨乳♪

酒池肉林、官能ハーレム♥

M モンスター
コミックス

漫画 阿見阿弥 原作 レンキしゅん



てい そう ぎやく てん せ かい ゆい いつ おとこ き し おれ
貞操逆転世界で唯一の男騎士の俺、
おんな き し がく えん にゆう がく
女騎士学園に入学したら
えい ゆう あつか
なぜか英雄扱いされた
ぜつ りん む そう
～絶倫スキルでハーレム無双～①

2025年10月15日 第一刷発行

漫画：あか に まめ 紅の煮た豆
原作：とも ばし 友橋かめつ

発行者：島野浩二
発行所：株式会社 双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3-28
電話：営業 03 (5261) 4818 編集 03 (5261) 4851

カバー印刷所：三晃印刷株式会社
印刷所：中央精版印刷株式会社
製本所：中央精版印刷株式会社
初出：電子コミック描きおろし

ISBN978-4-575-42256-6 C0979

落丁・乱丁の場合は送料双葉社負担でお取り替えいたします。「製作部」あてにお送りください。
ただし、古書店で購入したものについてはお取り替えできません。[電話]03-5261-4822 (製作部)
本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。
本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、
たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

定価はカバーに表示してあります。



実際の商品にはぼかしは入りません。



お買いあげ
ありがとうございます！
紅の煮た豆

『貞操逆転世界で唯一の男騎士の俺、
女騎士学園に入学したらなぜか英雄扱いされた
～絶倫スキルでハーレム無双～』
© 紅の煮た豆・友橋かめつ 双葉社

NOT FOR SALE

『貞操逆転世界で唯一の男騎士の俺、
女騎士学園に入学したらなぜか英雄扱いされた
～絶倫スキルでハーレム無双～』
© 紅の煮た豆・友橋かめつ/双葉社
メロンブックス特典 NOT FOR SALE



お買いあげ
ありがとうございます！
紅の煮た豆



SAMPLE

お買いあげ
ありがとうございます！
紅の煮た豆

「直達空艇世界で唯一の男騎士の俺、
女騎士学園に入学したらなぜか英雄扱いされた
〜絶倫スキルでハッピーな毎日〜」

© 紅の煮た豆・友樹かめつ / 双葉社

NOT FOR SALE